



一般社団法人
富山県作業療法士会
ニュース

令和4年度 No.1 第139号 令和4年6月26日

発行 一般社団法人
富山県作業療法士会
会長 齋藤 洋平
印刷 (株) チューエツ

富山県作業療法士会ホームページ <https://toyama-ot.org/>
富山県作業療法士会会員数：680人

これからの想い

一般社団法人富山県作業療法士会長 齋藤 洋平

初夏の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。

今年度は2年に1度の改選であり、執行部にも新たな風が吹き込んでいます。

さて、これまでの富山県作業療法士会を振り返ってみると、約700名の会員ではありますが、人口に対する作業療法士数が比較的高く、私たちにたくさんの期待が寄せられています。また、臨床実習指導者講習会や東海北陸作業療法学会を、日本作業療法士協会とモデル的に開催できる、チャレンジ精神に満ち溢れています。さらには、産業分野との連携も行い、医療介護の枠を超えて、異業種異職種との連携を図ることができる優れたコミュニケーションスキルがあります。

ここ数年、新型コロナウイルス感染症による活動自粛や新たな様式での事業のため、会員のみなさんには、かなりのご負担をお掛けしています。幸い、毎年新たな仲間が増え、感染対策を行いながら、必要な事業を行うことができています。ただ、会員が多く集まることのできる機会が少なくなったのは、とても残念なことです。

私の近況を述べると、働き始めて約20年、総合病院や訪問リハビリにて作業療法を行ってきましたが、この4月から、市直営の地域包括支援センターと健康課にて勤務しています。

今まで、地域のことを様々述べる機会がありましたが、働く場所が変わり、地域を直接相手にしてみると、今まで得てきたものだけでは、到底、仕事ができないことを痛感しています。しかし、病院、施設だけでなく、地域の色々な場面で、作業療法士が活躍できる機会があることを感じ、これからの発展がとても楽しみです。

会員のみなさんは、ご自身の仕事はもちろん大切にしながらも、少しの合間に、富山県作業療法士会のことや作業療法のことを考えてみてください。そして、感じたことや思ったことをどしどしこちらにお寄せ下さい。それが、これからの富山県作業療法士会の発展につながることでありますから。

第20回 富山県作業療法学会演題募集要項

1 演題応募方法

- インターネットによるオンライン登録にて応募してください。
- 富山県作業療法士会ホームページに掲載される演題登録ページ内の【演題登録の手順】に沿って行ってください。
- ホームページ上での演題募集・登録に関する詳細は、8月中旬に掲載する予定です。

2 演題募集期間：令和4年9月1日(木)～9月22日(木)

- 応募期間及び締め切り時間の厳守をお願いします。締め切り前の数日はアクセスが集中し、応募手続きが完了できないことがあります。また、演題登録・修正が完了できないことがあります。余裕をもって早めに登録を済ませてください。

3 募集内容

- 口述またはポスター
- 演題登録については、一般演題（口述・ポスター）で一人1題とさせていただきます。
- 学会運営上、異なる形式での発表をお願いする場合がありますので、あらかじめご了承ください。

4 発表形式

- 1) 一般演題（口述）
 - PC (Windows版 Microsoft Power point) を用いて行います。持ち込みメディア形式はUSBフラッシュメモリーを使用する予定です。PC以外の機器、指定されたソフト以外は使用できません。
 - 発表時間は7分、質疑応答は3分です。
- 2) 一般演題（ポスター）
 - セッション形式で行います。各セッションに座長を設け、座長の進行の下、発表・質疑応答を行います。ポスターフォームや掲示方法については富山県作業療法士会ホームページ、または、演題採択通知にて改めてお知らせいたします。
 - 発表時間は7分、質疑応答は3分です。

5 演題内容に関わる倫理的事項について

- 1) 対象者の同意について
 - 倫理的事項を尊重し、本文中に対象者の同意についての記載が必須です。
- 2) 最大限の倫理的配慮を行うこと
 - 個人の尊厳、人権の尊重などの倫理的配慮を行い、研究・所属先に倫理審査委員会がある場合は審査を受けた旨を記載してください。

6 演題採択基準

- 演題の採択は、本学会の審査基準に従って演題査読者による選考結果をもとに学会長が決定します。採否の結果は令和4年11月下旬にご連絡致します。

7 お問い合わせ

- 演題登録を含む学会開催に関するお問い合わせは、学会事務局までお願いします。
- 発表はしてみたいけど、不安がある方は、学会事務局や県土会事務局にお気軽にご相談ください。

福祉用具支援事業委員会より

そしてOTの技術を必要としている地域の方々へ届けていきませんか？

そこで

大募集!!

表彰

応募方法

初の栄冠は貴方に！ まずは登録を！

企画 富山県作業療法士会
福祉用具支援事業委員会
問い合わせ先 yfukushi765@gmail.com

配布されている
事例集を参考に
ご応募ください

作業療法士が提案する
自立(律)に導く生活行為の工夫事例集

一般社団法人 日本作業療法士協会

更衣・ファスナー操作の工夫
(高橋圭一 片真輝)

上衣ファスナー操作が困難な脳卒中片麻痺患者の方に、
上衣固定ベルトを用いた事例(市販品の改良)

藤中村麻由美の方が、上次のファスナー操作時に、「着手が全く使えないので、時間がかかってしまう」と主張していたので、コーティングケブラー・コバン用シヨルダーベルト・アングルベルトで作成した二点固定ベルトを提案・実施した結果、片手で上側のファスナー操作が容易になった。

【利用者・家族の声】
ファスナーが閉めにくくなった

右側腰・背中の痛み	右側の上半・手指(肘・手首・手)の麻痺感・右肘や左手肘の関節痛等
-----------	----------------------------------

		
--	--	--

正統のメスナー生薬も数種あり、一人で持つ二時鐘を重宝していた。

上流したポイント	フラスナーの口まを、クリップ固定することで、若干のズレをカバーしやすくなった。
利用上の留意点 (改善点、注意点)	フラスナーの口止固定位置が適正でないと、スライダ操作時に、クリップ固定が外れる可能性がある。

種類	登録名(制作者)	コーティング剤、カイン用ホルダー、54と、アンダーベルト
----	----------	------------------------------

日期	八千五百一十二	(四)四一五 二(一)

● 40 ●

このシステムを活用して行っていくしますので、まずは、登録をお願いいたします。

福祉用具相談支援システム

日本介護福祉士協会主催の福祉用具相談支援サービスが利用の方向けに、実際に作成されています。

ホーム はじめに 相談受付 相談決定 相談完了A 相談完了B 問い合わせ



福祉用具に関する悩み・相談を介護福祉士の福祉アドバイザーが解決の
お手伝いをいたします！

クリック

OT利用番号

連絡先メールアドレス

☐ ノパスワード表示

ログイン

忘れたパスワードの再入力
(パスワードを再入力)



福祉用具相談支援システム利用A

システムの利用に際して、確認をいただくための画面をまとめております。
※「お申し込み」の画面で選択されているサービスごとに表示されます。



福祉用具相談支援システム利用B

システムのメインコンテンツである福祉用具の検索やサンプル事例など、
「お申し込み」画面から選択されているサービスごと、ご利用のメニュー
としてご一覧いただけます。

→ **一歩手前の福祉用具相談支援システムをご利用ください** →

本館蔵書の福祉用具メニューは、福祉用具相談支援サービスに準拠した、福祉システム上の福祉用具メニューの閲覧です。福祉用具カタログのダウンロード、
福祉用具の検索やお問い合わせはご利用ください。

福祉用具相談システム

〇〇県作業療法士会 〇〇〇〇

ホーム

ログイン

検索・問い合わせ

お問い合わせ

アカウント

ログアウト

ログイン

福祉用具相談のことで質問したい方、あるいはあなたが福祉用具の相談者になりたい方

福祉用具相談

福祉用具の相談は、福祉用具アドバイザーがメールでアドバイスが可能です。丁寧に回答いたします。

相談メモリー

相談から完了までの相談の履歴を確認できます。
詳細は「お問い合わせ」ください。

お知らせ

福祉用具相談システムのご案内、お知らせ。

ダウンロード

ダウンロードのご案内。

ログインした方の名前が表示されます

クリック →

→ 検索履歴のメールアドレスにてご利用のユーザー

当県作業療法士会メールアカウント、福祉用具相談システムにログインすると、当システムからのメールが送信されます。当県作業療法士会IDを登録し、[pass_reset](#)のボタンをクリックしてパスワードをリセットしてください。

当県作業療法士会メールアカウント

委員長 飯田 朱美 (池田リハビリテーション病院)
yfukushi765@gmail.com

認知症作業療法委員会の振り返りと今後の役割

2016年に認知症作業療法委員会（以下、当委員会）が設置され、今年で7年目を迎えます。その間役割は徐々に変化し、今年の定期総会において他部会との統合案が示されます。今回掲載の機会をいただきましたので、当委員会の動きを振り返り、今後の役割を考えてみたいと思います。

● 当委員会設置のきっかけ ●

国が認知症初期集中支援チーム構想を打ち出し、日本作業療法士協会（以下、O T 協会）が特設委員会として認知症作業療法推進委員会を設立。各士会においても対応する組織を設けることになった。

● 設置当初の役割 ●

認知症初期集中支援チームを県士会員に浸透させることから開始。同時にO T 協会が協会員向けに認知症に関する知識の再構築を目的とした認知症作業療法アップデート研修を立案。各士会において実施することになり、当委員会の主な役割となっていた。

● O T 協会の体制の移行 ●

O T 協会はアップデート研修を主導するとともに、毎年認知症の最新情報の提供を目的とした全国会議を開催（現在も簡略化され継続）。しかし2019年度をもってO T 協会の認知症作業療法推進委員会は特設委員会としての役目を終え、現在は“制度対策部 認知症班”となっている。

● 当委員会の役割の変遷 ●

2017年から開始した認知症作業療法アップデート研修の受講者数は計200名となっているが減少傾向にある。またこれまで行っていたO T 協会への研修参加者報告も廃止されたことから、他士会では内容の見直しの動きも出ている。

2018～2019年には普及指導事業部や他リハ職との合同事業として、ねんりんピックや健康と長寿の祭典の運営に従事。一般の方への認知症対応の普及を行った。（2020～2021年はコロナのため中止）

2020年7月に富山県若年性認知症相談支援センターより「本人家族交流会の運営に力を貸してもらえないか」との依頼があった。家族交流会時に、当事者の方々にアクティビティを提供し健康的な時間を過ごしてもらうというもので2ヶ月に1度のペースで開催。コロナの影響で中止となることもあったが、これまでに7回実施し今年度も6回予定されている。

● 地域での認知症支援の現状 ●

認知症への支援は介護予防と合わせ地域包括支援センター経由となることが多い。県士会では当委員会ではなく、各地区の地域包括支援センターへの働きかけも行っている「地域アドバイザー委員会」がその役割を担う機会が多く、当委員会として行ったのは2019年に富山市で行った介護予防教室の1件のみとなっている。

● 当委員会の今後 ●

認知症への対応はそれ単体ではなく家族支援や介護予防などを含めて複合的に行われ、またそれはチームオレンジのように地域ごとの対応が求められている。認知症だけに対応するのではなく、新たな統合名として挙げられている“高齢者支援部会”として高齢者に関すること全般への対応と役割を変えていく時期ではないかと思っている。その詳細については統合後に新たなメンバーと共に考えていきたい。

R4年度 第13回訪問リハ地域リーダー会議報告

訪問リハ委員会 南砺市訪問看護ステーション 鷲尾 智子

本委員会は、今年度より富山県リハビリテーション（以下リハ）専門職協議会の下部組織として活動を継続しており、名称を「富山県リハ専門職協議会 訪問リハ委員会」と改称しました。PT・OT・STの3職種で構成されており、この会の目的はリハ専門職団体協議会の訪問リハ振興財団が主催する地域リーダー会議に富山県の地域リーダーとして参加し、制度改正に向けて地域の実情を報告すること、政府方針や財団が目指す方針について県士会会員へ届けることが主な目的です。今回は2024年度の医療介護同時改定に向け訪問リハがどのような方向性に向かうか、各協会長をはじめ参議院議員の小川かつみ氏、訪問リハ振興財団理事長の半田氏（PT）、訪問リハ振興委員会委員長佐々木氏からメッセージを頂きました。

2025年日本は超高齢社会に突入するといわれており、政府は後期高齢者の2割負担、生涯現役（人生100年時代）、事業継続計画の推進など少子高齢化による人材不足に対する高齢者施策を挙げています。また2040年には65歳以上の高齢者人口がピークを迎えるといわれ、それに向けて2024年第8期介護保険事業改革が始まります。今後は質の高い急性期（人的物的資源の充実）や手厚い回復期で入院日数の短縮化に伴い、在宅での医療提供が必要になります。医療介護連携の推進、在宅医療の基盤整備（24時間体制や地域医師会との連携）、患者の状態に合わせた質の高い医療（看取りや医療的ケア児への対応）の提供、予防事業における悪化防止と要支援～軽度要介護

者へのリハ介入のあり方について、改めて医療としてのリハの効果検証が求められる時代となります。

訪問リハと訪問看護I5の療法士による訪問看護の違いを明確にすることも、今後の課題です。社会や地域に早期に復帰できるようなりハのあり方とは？医療依存度の高い対象者へ関わるには？今私たちが求められるのは、質の高いリハ、効果的なリハといえるでしょう。その実績を示し、次の同時改定では私たちの提供しているサービスは、医療介護においてなくてはならないものと国に認めてもらう必要があると考えます。当委員会は、その質や効果について県士会の皆様へ学びの機会や情報共有の場を設けていくことを、今後も継続したいと考えています。

さて、ここからは宣伝です。今年度も当委員会主催の研修会を企画しております。今回は株式会社gene代表取締役張本浩平氏（PT）をお招きし、「在宅リハに関わるセラピストのトラブル発生時の心構えと仕組み」というテーマでお話を伺います。「リハビリテーションを形にする」という理念に基づき日々SNS等で発信されており、私たち療法士に様々な気づきとやる気を提供して下さい。今在宅リハに関わっている方、これから関わる方、病院や施設勤務の方、精神分野や小児も今後在宅でのリハ支援が増えますので、どの立場の方にも心に響く内容になると思われます。Zoom開催ですので、お気軽にご参加ください。

介護ロボットのプラットフォーム事業

社会的課題の解決に向けた『コンソーシアム』と 作業療法士の役割

新型コロナウイルス感染症による新たな生活や働き方に、会員のみなさんは大変ご苦労されていることか
と思います。

私たちの周りを見返してみると、その他にも様々な
課題があり、私たちで解決できることとできないこと
があります。

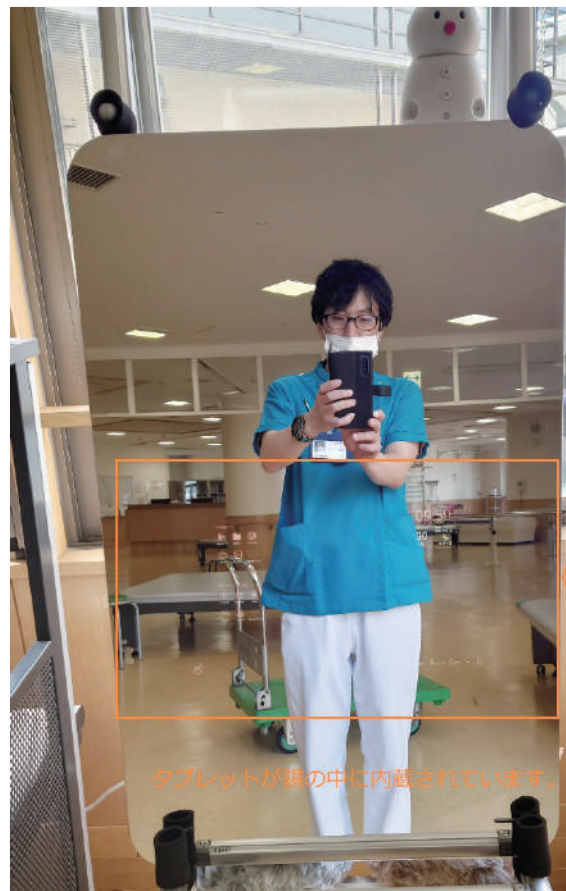
富山県作業療法士会では、介護ロボットのニーズ・
シーズ連携協調協議会以降、これまでにはなかった形
で、課題やニーズに対して取り組んできました。また、
そのなかには、対象となる住民や患者も含めたコンソ
ーシアム（Consortium）をつくり、異業種異職種に
て取り組んでいることが私たちの特徴です。

富山県介護ロボット協議会は、令和3年度に富山大
学の研究事業として行い、鏡が自立支援にどのような
効果を与えるのか、マハウノカガミプロトタイプを製
作し検証を行いました。効果検証は、入院中の患者さ
んや、通所サービスの利用者さん、在宅の高齢者に対
して行い、作業療法士が高齢者の反応や特性について
まとめました。

また、前回の県士会ニュースでご紹介したように、
サンシップとやま内にある富山県介護実習・普及セン
ターより、介護ロボットの普及啓発のために、介護ロ
ボットサポーターとして関わって欲しいとのご依頼があり
ました。このなかでは、対象者の動作分析や工
程分析を元にした介護ロボットの活用や介護者の適切な使用について、作業療法士の視点が求められてい
ます。

さらには、梱包で有名なサクラパックス社から、発達領域における課題と製品開発に関する相談があり、
話し合いをする機会がありました。私たち自身も、これまで解決できなかった課題に対して、良いヒント
をいただきました。

これまで、作業療法士は、職場である病院や施設において、その役割を発揮してきました。しかし、
様々な生活課題や過ごし方があるなかで、地域社会においても、活躍する場があることがわかりました。
コンソーシアムなど、異業種異職種が集まる場でも、作業療法士のスキルを活かすことで、沢山のウェル
ビーイングがもたらされるのではないのでしょうか。



タブレットが鏡の中に内蔵されています。

写真のマハウノカガミプロトタイプは、南砺市民病院で保管してありますので、借りられてみたい
方は、南砺市民病院 野田までご連絡ください。

施設紹介

富山西リハビリテーション病院

富山西リハビリテーション病院は、2017年11月に開設された回復期リハビリテーション病院で、ファボーレのすぐ向かいにあります。当院は入院120床すべてが回復期リハビリテーション病床で、早期の在宅復帰、社会復帰を目指した365日のリハビリ体制となっています。リハビリテーション科は現在PT37名、OT28名、ST6名の合計71名のリハビリテーションスタッフで構成されています。新しい病院なこともあり、リハビリテーションスタッフは約半数が経験年数5年目以下となっています。時々ジェネレーションギャップに戸惑うこともありますが、モチベーションの高い元気なスタッフに囲まれて、良い刺激を受けながら、これからも質の高いリハビリテーションを提供できたらと思っています。

入院リハ以外には、医療外来、通所リハ、訪問リハを実施しており、退院後にも地域の中で安心して生活できるよう切れ目のないリハビリテーションを実施することができる体制を作っています。開設当初より、自動車運転支援には力を入れており、入院中の支援のみならず、退院後の運転支援のための運転外来や、運転に不安がある方に対してのあんしん運転診断なども行っています。また昨年度からはロコモフレイ



ル外来を立ち上げました。隣に併設している富山西総合病院の整形外科とも密接に連携しながら、ロコモフレイル状態の方や足腰などの痛みがある方に、安全で効果的なリハビリテーションを提供しています。現在コロナ禍にあり、入院中の面会が自由に行えない状況にあるため、希望があった患者様やご家族様へ、リハビリ場面をLINE動画で送信して不安を取り除き、安心して入院していただけるような取り組みもしています。

まだまだ新しい病院なため、地域の皆様に当院のことを知っていただけるようにいろいろ試行錯誤していますが、「あそこに行けば何とかなるかな?」と思っていただけるように、これからも地域に寄り添った取り組みや発信をどんどんしていきたいと思っています。



会員リレーコラム



みしま野苑一穂
稲田 繭子

県士会の皆さんこんにちは。砺波総合病院の水上さんから受け継いで、コラムを書かせていただきます、みしま野苑一穂の稲田繭子です。

水上さんと同じ、犀潟リハビリテーション学院を卒業し、結婚して射水市に移り住み、現在の職場に転職して約11年になります。

3人の娘の子育てと仕事の両立で、自分のことは二の次ですが、コロナ禍になる前は当時まだ小学生だった三女と一緒に、地元のよさこいチームに所属していました。夏に開催される“とやま祭り”で入賞するために、この時期は週3回の夜練習、土日のイベント参加と忙しい日々を過ごしていました。振りを覚えられずに娘に教えてもらったり、夜遅くまで一人練習したり、体作りにウォーキングしたり今では考えられないくらい活動的でした。娘と一緒に披露

したステージは今でも大切な思い出です。

今は娘達の部活の応援が楽しみです。次女はバスケットボールを三女はハンドボールをしています、子供の頑張っている姿を見ているのは活力になります。チームメイトと切磋琢磨したり人間関係で悩んだり、自分の限界に挑戦したり、たくさん感動させてもらっています。後悔のないよう、引退の日まで全力で応援してあげたいと思います。

長女が県外の大学に進学し、最近は少し生活にも余裕が出てきました。コロナ禍でもありすっかりインドア派になってしまいました。休日は子供の試合以外はラーメン屋に行ったり、一人で映画を見に行ったりするくらい…最近立ち寄った家具店で一目ぼれして衝動買いしたパーソナルチェアに座って、本を読んだり、たまにドラマの録画をみたり、大好きなお酒をたしなんだりするのがお気に入りです。そろそろ人生折り返し地点なので、新しい趣味でも見つけたいなと思っています。

次は、愛する母校、犀潟の、卒業メンバーの一人、しっかり者の真生会富山病院の竹田美貴代ちゃんにバトンを渡そうと思います。



かみいち総合病院
新鞍 成美

県士会の皆さんこんにちは。済生会高岡病院の杉木さんからバトンを受け継ぎ、今回コラムの担当をさせていただく事になりました。かみいち総合病院の新鞍成美です。杉木さんとは富山医療福祉専門学校で同級生になります。私は1年目より回復期病棟に所属しています。高齢化社会により、入院される患者様の年齢層は80代が中心です。認知症を患っている方も多く、道具や課題を用いた運動訓練や季節の作品作り、集団レク等で身体や認知機能・QOLに関わらせていただいています。特に内服管理や家事練習など、個々に合わせた手段を考え練習する事が未だに苦手です。職場の先輩方に相談し、アドバイスをいただきながら取り組んでいます。またコロナ禍で制限がかかり、患者様同伴での訪問が行えず環境調整や支援に苦戦する事が多いです。

特に独居の方には退院直後の支援と調整を訪問リハへ申し送り、実際の生活場面へと継続した支援に繋げるよう心掛けています。また必要に応じてソックスエイドや、在宅生活をする方のウロバックのカバーを作成しお渡ししました。患者様と相談し、試行錯誤しながら作成した貴重な経験を今後も活かしていきたいと思っています。反面で自身の勉強不足は痛感しているので、今年は積極的に勉強会や研修に参加していきたいと考えています。

私は友人と遊ぶこと、美味しいものを食べる事が好きです。コロナ禍に入って外食・外出が出来なくなり、オンラインで友人と飲み会やゲームをする事が多くなりました。職場のオンライン飲み会にも参加し、プライベートや共通の趣味で話が出来てとても楽しいですが、もの寂しさも感じます。1日でも早く制限のない自由な生活に戻れることを願っています。

最後に次は恩師である、さくら脳とこころの訪問看護ステーション 松本大輔、大先生にバトンをお渡ししたいと思います。快く了承くださり、ありがとうございます。宜しく願い致します！

■ 会員異動等

種別	氏名	旧所属	新(現)所属	備考
異動	江渕 敏樹	ふるさと病院	アルカディア雨晴	
異動	遠藤 康代	老人保健施設アルカディア雨晴	きたえるーむ高岡野村	
異動	大野 英子	射水市民病院	自宅	
異動	尾村 貴子	池田リハビリテーション病院	杉野脳神経外科病院	
異動	柿木原 聡子	西能みなみ病院 通所リハビリみなみ	老人保健施設 みどり苑	
異動	北田 祐太郎	にしの老人保健施設	特別養護老人ホーム やなぜ苑	
異動	齋藤 洋平	南砺市民病院	南砺市地域包括ケアセンター内 地域包括支援センター・健康課	
異動	島津 康二	いま泉病院	老人保健施設ちょうろく	
異動	島林 稚帆	八尾老人保健施設 風の庭	上市老人保健施設 つるぎの庭	
異動	徳永 菜津子	北陸中央病院	訪問看護ステーションあぼがど	
異動	富田 智衣	ふくの若葉病院	自宅	
異動	中平 結	介護老人保健施設レインボー	さくら脳とこころの訪問看護ステーション	
異動	分部 明日香	厚生連高岡病院	厚生連滑川病院	
異動	松田 公輔	厚生連滑川病院	厚生連高岡病院	
異動	松本 敦史	ケアホーム陽風の里	みなみの星病院	
異動	宮田 真奈未	自宅	光ヶ丘病院	
異動	村上 和輝	アルカディア氷見	ふるさと病院	
異動	森 伊津子	厚生連高岡病院	自宅	
異動	吉波 美穂子	富山医療福祉専門学校	リハビリ・デイサービスとなみ	
異動	渡邊 純子	ヴィストカレッジ富山環水公園前	ヴィストカレッジ訪問支援とやま	
異動・改姓	弥生 美友	アルペンリハビリテーション病院	入善老人保健施設こぶしの庭	旧姓 近藤
改姓	道海 香花		北陸中央病院	旧姓 北野
改姓	平井 幸代		医療法人 真生会 富山病院	旧姓 岡澤
改姓	藤塚 早紀子		富山県リハビリテーション病院・こども支援センター	旧姓 石原
退会	北野 満	リハビリ・デイサービスおやべ		
退会	坂口 彩乃	済生会高岡病院		
退会	澤木 佳子	自宅		
退会	城寶 学		南砺市民病院	
退会	高橋 朗		自宅	
退会	端 海斗		北陸中央病院	一身上の都合
退会	藤井 暁子	社会福祉法人ラッコハウス		県外転出
退会	本保 恵介		国立病院機構 医王病院	
退会	道端 栞	いま泉病院		
退会	望月 舞	丸川病院		

■ 新入会員

氏名	所属	氏名	所属
畑 詩織	シニアレジデンスかの苑	吉田 理恵子	池田リハビリテーション病院
澗株 紗也加	リハ・ハウス来夢	西田 美波	特別養護老人ホーム ことぶき苑
坂本 咲妃	介護老人保健施設 アルカディア氷見	久田 智佳	南富山 中川病院
長谷川 彩香	介護老人保健施設 みしま野苑一穂	坂井 亜伽里	富山県リハビリテーション病院・こども支援センター 成人療法課
奥村 美里	介護老人保健施設 レインボー	花井 愛佳	富山西リハビリテーション病院
左近 みずき	丸川病院	松田 茉里耶	富山西リハビリテーション病院
大澤 和	丸川病院	森田 康紀	富山西リハビリテーション病院
長田 生那	光ヶ丘病院	中山 琉心	富山西リハビリテーション病院
大崎 優暉	厚生連 高岡病院	小川 莉奈	富山西総合病院
青城 聡夏	済生会 高岡病院	丸山 莉奈	富山大学附属病院
早木 達哉	済生会 高岡病院	石坂 莉央	富山労災病院
小谷 桃子	正友会 中村記念病院	柿岡 美紅	流杉病院
川原 志穂莉	正友会 中村記念病院	柴原 ひな緒	流杉病院
熊谷 茂子	西能病院	小川 美樹	老人保健施設 ちょうろく
小林 昌泰	谷野呉山病院	松井 弥琴	老人保健施設 ちょうろく

令和3年度 第12回理事会

日時：令和4年3月14日（月） 19時より
ZOOMによるWEB会議にて開催

出席者：齋藤、松岡、桐山、丸本、吉波、藤井、森、渡邊、大平、能登、丁子、安本、小倉、橋爪

欠席者：島津

《報告事項》

1. 県士会関連事業
 - 1) リハビリ専門職協議会
 - ・研修会：3月6日済。100名、50名参加。OT25名程参加。
 - 2) 教育部
 - ・事例検討会開催予定。次年度、回数および発表者を増加。
 - 3) 介護ロボット事業
 - ・介護ロボットサポーター事業 3月3日19時よりサンシップとやまにて開催
 - ・サクラボックスと発達部会などとの話し合い：3月15日
 - 4) 富山県循環器対策推進協議会
 - ・2回会議 2月24日。齋藤出席。
 - 5) 地域アドバイザー委員会
 - ・パンフレットの英訳について
 - ・CIC内国際交流の場、111のJICA事務所、に50枚ずつ配布。吉波理事より渡邊理事へ。
 - 6) 認知症作業療法委員会
 - ・2月19日 若年性認知症の本人と家族の交流会はコロナのため中止
 - ・次年度も引き続き協力、支援。
 - 7) 令和4年度 県学会
 - ・新川文化ホールにてハイブリッド学会を予定
 - ・予算案について→一部修正が必要な箇所あり。修正後了承。
 - ・東海北陸学会決算報告
 - 8) なりすましメールについて
 - ・地域アドバイザー委員会のgmailより発信
 - ・数回、注意喚起のメールをメーリングリストで会員にお知らせ
 - ・ホームページに注意喚起を掲載。しばらく掲示。
 - ・今後も繰り返される可能性あり、使用していないメールアドレスは削除など。
 - 9) 福祉用具事業委員会
 - ・報告書提出
2. 協会関連事業
 - 1) 47委員会
 - ・3月12日：齋藤、島津事務局長、松岡副会長出席（ZOOM開催）
 - ・会議資料添付。関連委員会、部にて要確認。
 - 2) 定期総会
 - ・5月28日土曜日

《検討事項》

総会について

- ・6月12日開催予定。スケジュール、事業報告の確認。
- ・スケジュール
 - 8：30 受付
 - 9：00 研修会「協会の役割について」
- 総会形式、開始時刻、教育部新人研修など、詳細に関しては次回の理事会にて審議予定。

令和4年度 第1回理事会

日時：令和4年4月18日（月）19時より
ZOOMによるWEB会議にて開催

出席者：齋藤、松岡、桐山、島津、丸本、吉波、藤井、森、渡邊、大平、丁子、安本、小倉、橋爪

欠席者：能登

《報告事項》

1. 県士会関連事業
 - 1) リハビリ専門職協議会
 - ・4月19日 政策協定について。齋藤出席（ZOOM）
 - 2) 介護ロボット事業
 - ・3月28日 富山県介護ロボット協議会開催（富山大学高岡キャンパス）齋藤、渡邊、野田出席
 - ・富山県に富山大学より報告書提出。南砺市民病院に購入物品あり。*添付
 - 3) 発達部会
 - ・4月19日 サクラボックスとの話し合い 桐山氏、発達部会
 - 4) 地域アドバイザー委員会
 - ・パンフレットの英訳版は使用許可下りず、配布などは行わない。
 - 5) 令和4年度 県学会
 - ・ハイブリッド学会にて検討中
 - 6) 広報部
 - ・県士会ニュース：ページに余裕があるため、掲載したいことがあれば島氏まで
2. 協会関連事業
 - 1) 教育部
 - ・富山県士会 生涯教育担当 森氏

《検討事項》

総会について

- ・6月12日開催予定。スケジュール、事業報告、計画確認

令和4年度 第2回理事会

日時：令4年5月16日（月）19時より
ZOOMによるWEB会議にて開催

出席者：齋藤、松岡、桐山、島津、丸本、吉波、森、渡邊、丁子、安本、小倉、橋爪
欠席者：藤井、大平、能登

《報告事項》

1. 県士会関連事業
 - 1) リハビリ専門職協議会
 - ・ 4月19日 政策協定について。齋藤出席（ZOOM）＊資料添付 渡邊理事、島津事務局長をOT担当として選出
 - ・ 5月26日県リハビリ連盟の会議出席予定。政治活動はしない。
 - 2) 教育部
 - ・ 7月30日、31日 臨床実習指導者講習会
 - 3) 介護ロボット事業・福祉用具事業
 - ・ 4月19日 サクラパックスと富山県OT士会との話し合い。桐山、滝川、渡邊氏 出席
 - ・ 6月23日 介護ロボット推進リーダー会議。齋藤、桐山、野田、渡邊 出席予定
- マホウノカガミ：南砺市民にて保管。借りたい場合声掛けください。

- 4) 災害委員会
 - ・ 5月 富山県JRATの会議開催予定。高林氏、藤井氏にて対応
- 5) 令和4年度 県学会
 - ・ 運営会議3回目開催 テーマや講師決定
 - ・ 5月18日演題登録システムの話し合い。演題募集に関して連絡来るかもしれません
- 6) 広報部
 - ・ 県士会ニュース
- 7) 富山県からの依頼
 - ・ 富山県高齢福祉課よりフレイルダンス監修：齋藤、富山県PT酒井士会長
 - ・ 高岡医師会より地区委員の選出：森氏から藤井氏へ交代
- 8) 慶弔
 - ・ PT士会荻島氏へ富山県士会名にて慶弔
2. 協会関連事業
 - 1) 協会総会
 - ・ 5月28日 代議員3名出席
 - 2) 47委員会
 - ・ 6月11日 齋藤、三役より1名、新理事より1名、出席予定
 - 3) 訪問リハ
 - ・ 5月21日 リーダー会議。鷺尾氏出席予定。



PT・OT・STのための
総合オンラインセミナー



どこでも
学べる



日本最大の
講師数



オフライン
再生対応

POINT

5

リハノメとは

「リハノメ」はPT・OT・STのための、どこでも学べるオンラインセミナーサービスです。臨床に悩むPT・OT・STのために、各分野の専門家が臨床経験や研究成果に基づいた知識・技術をお届けいたします。



豪華講師陣が登壇！

1ヶ月見放題プラン

通常料金 3,080円が初回限定で…

980円

(税込)

お申込はこちら▽





作業療法士 / 山梨リハビリテーション病院
リハビリテーション部 副部長 兼
作業療法課長
山本 伸一 先生



作業療法士 / 目白大学保健医療学部
作業療学科 准教授
佐藤 彰紘 先生

法人様向けプランも
ご用意しております

詳しくは公式 HP まで /

リハビリテーションを
『かたち』にする会社

〒461-0004 愛知県名古屋市中区葵1丁目26-12 IKKO新栄ビル 6階

お問い合わせは
こちらまで
お願いいたします

✉ seminar@gene-llc.jp

Tel.052-325-6611

リハノメ 検索



- 4) 地域リハビリ
・大平氏に対応依頼

《検討事項》

総会について

- ・6月12日開催予定。スケジュール、事業報告、計画・実績確認
- ・総会は60名出席。
- ・会場は2部屋借りる予定（現職者講習と総会場）8：00～13：30くらいまで
- ・総会後に理事会開催する 研修会と同時進行予定
- ・定款変更の有無→窓口の確認
- ・新入会員の部会希望について 各部会委員会で希望人数あれば松岡氏まで
- ・丁子氏 「地域と運転」について執筆 運転連携シートについて載せようと思っています

編集後記

今、私は当院の地域包括ケア病床で業務に当たっています。原則2ヶ月間の中で退院支援を進め、リハビリ以外にも多職種連携や病棟生活での環境調整も求められ、やりがいや難しさを感じています。担当した方が期限内に無事自宅退院できるとやはり嬉しいものです。早くコロナ情勢が改善し患者様と家族がもっと関わり合いを持てるようになればと思っています。
(I.K)

賛助会員名簿

(順不同)

会 員 名 (代表者)	住 所
学校法人金城学園 金城大学 医療健康学部 (学長 前島 伸一郎)	〒924-8511 石川県白山市笠間町1200 TEL 076-276-4400
医療法人社団いずみ会 (理事長 大西 仙泰)	〒939-8075 富山市今泉220 TEL 076-425-1166
富山リハビリテーション 医療福祉大学校 (理事長 青池 浩生)	〒930-0083 富山市総曲輪4丁目 4番5号 TEL 076-491-1177
株式会社 富山県義肢製作所 富山県補聴器センター (代表取締役 森田 忠浩)	〒930-0042 富山市泉町1丁目2-16 TEL 076-425-4279
株式会社 gene (代表取締役 張本 浩平)	〒461-0004 愛知県名古屋市中区葵 1-26-12 IKKO新栄ビル6階 TEL 052-325-6611
ライフ・クリエイト株式会社 (代表取締役 北野 満) リハビリ・デイサービスおやべ リハビリ・デイサービスたかおか リハビリ・デイサービスとなみ	〒932-0814 小矢部市赤倉207 TEL 0766-67-2001

一般社団法人 富山県作業療法士会事務局より

メーリングリスト登録のお願い

現在、ホームページや施設宛での発送以外に、メーリングリストへ登録していただいた方に、多くの情報を配信しています。

今後さらに、メーリングを活用し、会員への情報の多くをメールを通じてお知らせしていきます。

■対象

一般社団法人 富山県作業療法士会会員

■配信内容

- 協会や県士会が主催する研修会等に関するお知らせ
- 作業療法に関する情報（制度改定や最新情報等）
- 災害時の緊急連絡や情報提供
- 協会や県士会からの事務的な連絡
- その他作業療法に有用な情報 等



富山県作業療法士会
会員ML(メーリングリスト)登録

<https://forms.gle/o9XmsZc8cK7yyG8XA>

